



## 市役所庁舎が交流の舞台に 活竹祭・こどもフェスティバルを開催

「第26回阿南市活竹祭」と「第15回阿南市こどもフェスティバル」が2月25日に市役所で同時開催され、親子連れなど約8,000人の来場者でにぎわいました。市内外から特産物の販売・飲食店が多く出店。また、ステージイベントや子ども向け体験コーナーに人だかりができ、市役所庁舎が終日、交流の舞台になりました。

## 徳島文理大学と連携協定を締結

本市と徳島文理大学は、2月15日に「連携協力に関する包括協定」を締結しました。この協定により、両者が連携して地域活性化や人材育成、新たな働き方の創造などに取り組みます。当面は、現在整備を進めている「あなんスマート・ワークオフィス」を活用した連携事業を軸として、具体的な内容について検討を重ねる予定です。



## 船の仕事に関心を「ふなどころ阿南」が絵本寄贈

市内海運事業者などでつくる「ふなどころ阿南まちづくり協議会」が、子どもたちに船の仕事に興味を持ってもらおうと、船員の仕事を描いた絵本「かもつせんのいちにち」100冊を阿南市に贈りました。2月20日に寄贈式が行われ、協議会会長の杉本 敏さんは、「小さい頃から船の仕事に関心を持ってほしい。今後は出前授業なども行って、小中学生にも船の仕事をPRしていきたい」と話しました。贈られた絵本は市内保育所・幼稚園・図書館に配布されることになりました。



## 地球温暖化防止に向けて 講演会を開催

「阿南市環境保全推進講演会」が2月28日に市役所で開催され、約70人が参加し見識を深めました。徳島大学大学院教授の近藤光男さんが、地球温暖化防止と脱炭素社会に向けた取組をわかりやすく解説しました。本市は平成29年10月に「市環境保全率先行動計画（区域施策編）」を策定し、市民、事業者、市等の各主体による積極的な取組を進めています。



## 服のチカラで国際貢献 桑野小学校が優秀賞

着なくなった服を世界中の必要な方に届ける「“届けよう、服のチカラ”アワード2017」（㈱ファーストリテイリング主催）で、桑野小学校が優秀賞（第2席）を受賞しました。5年生19人は難民問題を学び地域へ呼びかけて服を回収。分別・梱包して段ボール25箱を届けました。柳田明日香さんは、「困っている方の力になりたいと皆で協力して取り組みました」と話していました。



## 官民が連携 定住促進協議会を設立

「阿南市若者定住促進協議会」を設立し、第1回協議会が2月16日に市役所で開催されました。同協議会は市、阿南商工会議所、民間移住支援団体、地域おこし協力隊、移住者などの代表者15人で構成。会議では、定住促進課による取組報告のほか、活発な意見交換が行われました。今後は、先進事例を学ぶ研修会の開催など連携を強化しながら定住の促進を図ります。